



部活動の「地域移行」に関する アンケート報告

県中体連研究部：鶴川 純平

アンケートの概要と目的

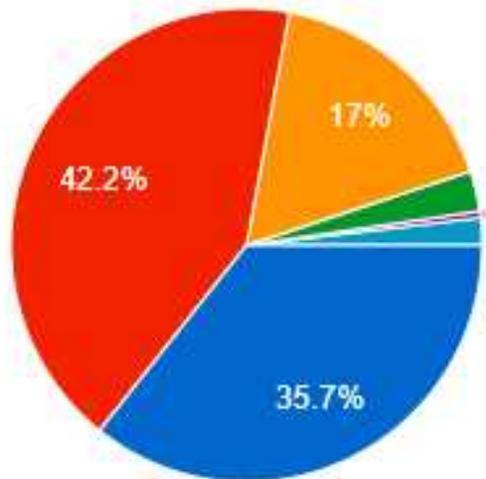
概要

期 間 : 2024年11月11日~11月29日
対 象 : 県内中学校教員
形 式 : Google Forms
回答数 : 910件

目的

本県における部活動の「地域移行」の進捗状況、
教職員の「地域移行」に関する意識等をアンケート
により調査し、今後の中体連としての取組の参考
にするため

貴校において、部活動顧問の先生方の負担はどの程度だと感じていますか？



- 非常に大きい (35.7%)
- 大きい (42.2%)
- どちらとも言えない (17%)
- 小さい (2.7%)
- 非常に小さい (0.4%)
- あまりない (1.9%)

非常に大きい 大きい

約8割の先生が回答



部活動顧問の負担は深刻な問題

時間的な
負担

精神的な
負担

専門性の
不足

他の業務との
兼ね合い

📄 どちらとも言えない(理由)

- ・自分自身としては負担には感じていないが、責任の大きさや報酬の低さのバランスがおかしいことが明るみに出ている
- ・学校部活動が教育活動に大きな役割を果たしてきたのも事実である

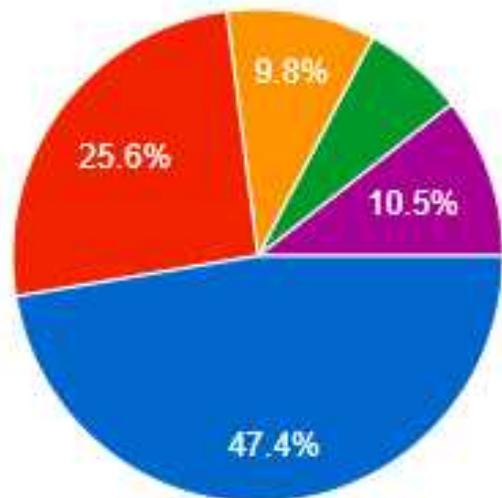
📎 小さい・非常に小さい(理由)

- ・自分がやりたいと思っている部活動に関わることができているから
- ・負担にならない程度で活動しているため

🎯 あまりない(理由)

- ・部活があるのが分かっていて採用試験を受けたから
- ・部活指導が好きだから

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。



- 賛成である(47.4%)
- どちらかと言えば賛成である(25.6%)
- どちらかと言えば反対である(9.8%)
- 反対である(6.7%)
- 分からない(10.5%)

賛成である

どちらかと言えば賛成である



全体の73%

🎯 賛成である・どちらかと言えば賛成であるの意見(要約)

- ◆ 教員の部活動負担が時間的にも精神的にも大きいと考えるから
- ◆ 学級経営や授業準備に十分に時間をかけることができない
- ◆ 地域移行をすることで、その負担が軽減できると考える
- ◆ 土日の部活動で教員の疲弊している姿がみられること
- ◆ 専門外の指導は生徒や保護者の要望も含めかなり負担である
- ◆ 家族との時間も確保したい
- ◆ 精神的なストレスや疲労回復の時間が確保される

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。

賛成である・どちらかと言えば賛成であるの意見(原文抜粋)

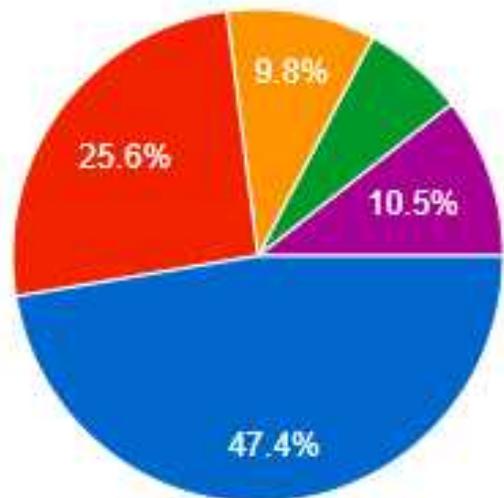
- 専門種目の先生が顧問についていない場合が多いので、専門の方に教えていただけるのは、生徒にとっても教員にとってもメリットがあると思います。
- 過去は部活動も熱心に活動出来てやりがいもあった。しかし今の部活動は様々な場面で制限が加えられ、取り組みにくい環境になっている。また時代の流れのせいなのか、教員不足のせいなのかは解らないが日常に於ける業務は増えるばかりで一向に働き方改革は進んでいるようには感じることは出来ない。日常の業務に加え部活動まで行い〇〇中学校の先生達は肉体的にも精神的にも疲弊しきっているのが現状である。そのような状況なので部活動は早く地域に移行してもらって少しでも働く環境を良いものにしてもらいたい為である。
- 本来教員の出勤日ではない土・日を部活動に費やすことで、身体の休息や家族との時間など、必要なものが削られているように感じるから。また、それに見合う対価などが得られている実感がないから。(部活動による生徒の成長や、部でしか見せない表情・意見などに触れられることにおいては、日頃の指導運営に非常に有用だと感じる。)
- 現在のやり方では、基本的に休日がない(丸一日の休みは月に、1回程度)
- 中体連の大会だけでなく、協会主催の大会もあるため、その準備や運営など常に部活動関連の仕事に追われている。
- 協会の役職に自分の名前が入っているため、自身の学校が大会に参加していなくても準備や運営に携わらなければならない。(特業手当が出ない場合での仕事が多い)
- 祝日であっても、生徒のためを思うと部活の練習をせざるを得ない。部活の予定表や、練習試合の設定、ユニフォームや大会への申込や運営への協力など、たくさんの仕事を行う必要があるが、報酬はない。実質、強制的なボランティアとなっている。私にも家族がいるが、本来なら家族と一緒に過ごせる時間を部活に取られていると感じる。
- 部活動の指導自体は、子どもの成長を近くで見ることができ、教師の数ある仕事の中でもやりがいを感じる仕事ではあるが、現状では「やりがい搾取」になっていて、教師の大きな負担になっている。

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。

賛成である・どちらかと言えば賛成であるの意見(原文抜粋)

- 現在の特業は3時間で700円。時給換算で最低賃金以下。そこから交通費等支出しなければならないことを考えると、仕事して成り立っているとは言えないと考えます。
- 教師のワークライフバランスの観点から、先生方がムリされないように、先生方のプライベートの時間がしっかり確保される環境が必要だと思う。子供たちの活動も教育的観点から大切だが、先生方が働き続けられる労働環境を整えることも大切だと思う。今までの「教師は子供たちのためにムリをする」ことを前提にした活動は継続できない時代になっていると思う。
- 時代の変化や流れ、反対してもどうにもならないのでは？協力しながら、知恵を出し合いながら子どもたちができる環境を整えていくことが大切ではないかと思う。
- 子どもが産まれるまでは、土日の部活動も毎週行っていました。子どもがうまれてから、土曜日の練習や日曜日の試合が、非常に厳しいです。日曜日は保育園が休みのため、試合の引率に行くのも毎回子供の預け先を確保しなければならず、大変です。小規模校のため、多数の教師でみることも難しく、ぎりぎりのところでやりくりをして、毎週部活動をしているのが現状です…。うまく地域移行されることに期待しています。
- 教師の負担軽減策として、部活動の地域移行はするべきだとは思いますが、部活動による生徒たちとのコミュニケーションの機会や生活態度の指導などはやりにくくなると感じている。
- 平日の練習に関してはまだ大変負担であるとは思っていないが、土日どちらも試合でつぶれることが日常的であり、私たちの心身のリフレッシュのための休日がないと感じている。
- 地域移行に関しては現在外部指導員の方と一緒に部活動を見させていただいているが、指導員の方と生徒の関係が築くことができるまでは教員との連携が必要であったり、何か問題行動があった場合は間に入って指導や話す場を作らないといけない。そのため完全に地域移行して外部の方に任せられるのか疑問に思う。

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。



- 賛成である(47.4%)
- どちらかと言えば賛成である(25.6%)
- どちらかと言えば反対である(9.8%)
- 反対である(6.7%)
- 分からない(10.5%)

どちらかと言えば反対である

反対である



全体の16.5%

👉 反対である・どちらかと言えば反対であるの意見(要約)

- ◆ 部活動は大変重要な教育活動の場であり、実際なくなれば学校の活性化は大変厳しい
- ◆ 部活動を頑張ろうと思って登校している生徒のモチベーションがなくなってしまう
- ◆ 地域の受け皿となる活動団体がきちんと整備されていないし、今後の大会の運営はどうなるのかが何も決まっていないから
- ◆ 生徒が今と同じようにできるのか心配

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。

反対である・どちらかと言えば反対であるの意見(原文抜粋)

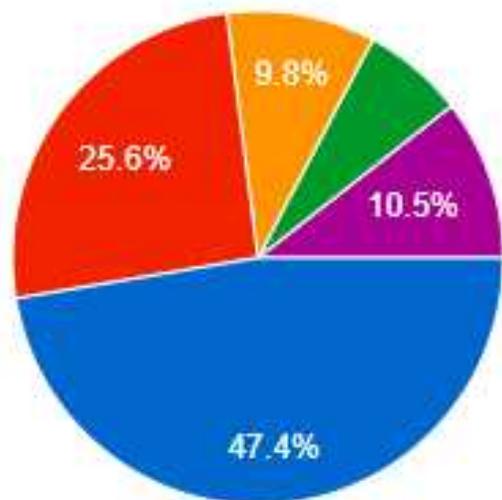
- 地域の受け皿を作ることができれば反対はしないが、現状ではお金や人材の問題をどのように解決するのが見えていないまま部活動をなくそうとしていることに問題を感じている。
- 働き方改革ということでは賛成です。各自治体がかなりの時間をかけて実施に向けて努力していただいておりますが、今の流れでは部活動・スポーツをする環境や条件が整わない生徒たちがたくさん出てくるのではないかと思います。なかなか指導者も確保が難しいようですし…
- 部活動を通して、技術以上に人間力を育てることが大切だと思うので、地域移行すると、大切なことがないがしろになる可能性が高いので反対である。
- 自分の都合に合わせて活動を行っている先生もいる。その中でやりたいこととして行っている人もいる。部活動にやりがいを持っている人もいる。
- 生徒の青春の場が一律に学校から消滅する喪失と、そこから派生する生徒の心とエネルギーの遣り場の問題や、学校の教育力の損失が生む次の新たな生徒指導上の課題に対する懸念が大きい。地域移行後の学校のあり方を令和8年度までに十分に検討し準備しておかないと、新しい大きな荒れが予想される。
- 部活動は負担はあるが、学校にとっては生徒の人格形成の場も兼ね備えておりなくなると学校での生徒指導の面で悪い方向で大きな影響を与えると思われる。また、経済的にしんどい家庭の子供が地域のクラブに入れないことも懸念される
- やってくれる人がいない。練習できる場所がない。お金が捻出できるかわからない。
- 教員も部活動指導のプロではないが、教員免許を持たない保護者に中高生年代の子どもに対して適切な指導ができるとは思えない。競技団体のガバナンスが効いていないので、団体をコントロールできない。
- 部活動は大変重要な教育活動の場です。実際なくなれば学校の活性化は大変厳しいと思います。これまで自分の時間を削って尽力されてきた先生方のありがたさをわかっていただきたいと強く感じています。

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。

反対である・どちらかと言えば反対であるの意見(原文抜粋)

- 部活動のおかげで子どもたちが成長したり、保護者とつながることができたりする。また、教員にとって働くモチベーション、やりがいになっている部分は非常に大きいと感じている。部活動が学校教育から切り離されたときに、部活動ほどの教育効果の高い取り組みはできないと思う。
- 部活動を通して、子どもの懸命に頑張る姿に触れ、生徒指導的要素も大きい。部活動での人間関係や成功体験等は、子どもたちの健全育成に非常に大きいから。
- 中体連の組織があり大会がある以上地域移行したところで担う役割はなんら変わらない。試合の為の練習という今までの指導概念を覆すことになる。地域で種目そのものを楽しみましょう、試合はしませんよ、なら中体連組織をなくすべき。何がしたいのか理解できない。近畿や全中の運営に駆り出されてる以上働き方改革は進まない。組織をなくすのが第一優先。
- 多くの生徒がこれまで部活動から学んできたものを、今考えられている地域移行では得られなくなってしまうから。最低でも、平日の部活動に参加している生徒が、土日の活動を制限なく保障されるような状況をつくってほしい。お金を払わなければ、土日に参加できないでは、チームスポーツの活動が維持できなくなる。
- 地域移行に向けて、人材が足りているのか。また、地域の人材が「勝利至上主義」、等の教育的活動にそぐわない活動になりそうであるから。
- 生徒の成長は学校生活との関連を持たせて指導がしたい。地域移行をすると学校と外部指導者方との間で価値観の差が出てしまいそうに感じるため。
- 私は地域移行ではなく、中体連の大会にクラブチームが参加することを認める動きについて違和感を抱いています。本当の意味での部活動(生徒のスポーツや文化活動の場)の地域移行を目指すのであれば、部活動を縮小する。そして、中学生が地域クラブを自身の目指すレベルや熱量に合わせて選択する。熱心に活動したいなら地域クラブに入るというような自然な流れを作るべきであると考えています。

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。



- 賛成である(47.4%)
- どちらかと言えば賛成である(25.6%)
- どちらかと言えば反対である(9.8%)
- 反対である(6.7%)
- 分からない(10.5%)

分からない



全体の10.5%

🗣️ 分からないの意見(要約)

- ◆ 地域移行をして教育的効果がどれくらいあるのかがわからない
- ◆ 無計画な進行は教員にさらなる負担をかける懸念がある
- ◆ どのような体制になるのかが全く見えてこないため、判断しかねる
- ◆ 部活動にやりがいを感じているが、休日出勤など、大変なところもある
- ◆ 地域移行が実施されても、具体的な運営方法や責任の所在が不明である

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。

分からないの意見(原文抜粋)

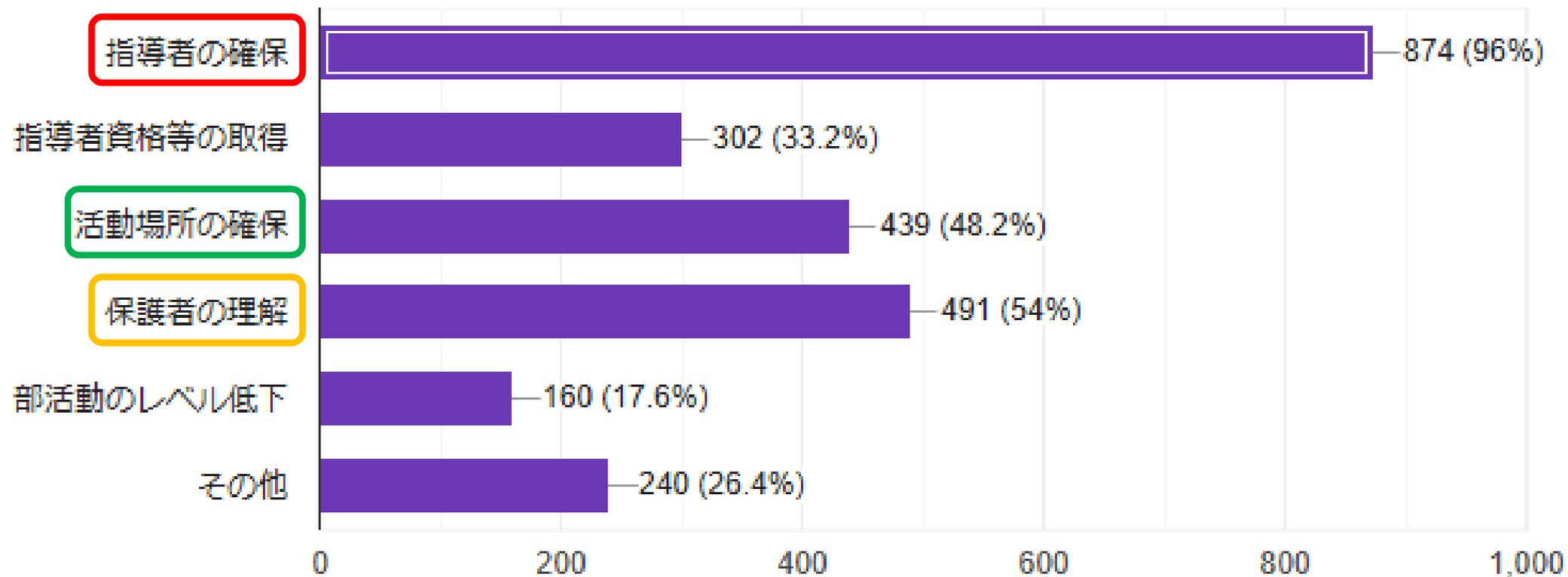
- 先生方の負担は減るが、今は生徒の受け皿もなくどうなるかわからないから。
- 平日と休日で指導者が変わると生徒が混乱するように思う。休日の大会の運営は結局中学校教師になり負担は減らないと思う。ただ、少しでも専門の方に指導していただくと生徒も喜ぶと思うから。
- 頑張ろうとしている人をもっと優遇してもいいのではないのでしょうか。主顧問と副顧問だけでも仕事に関する差は存在すると思います。現状うちの学校だけの雰囲気かもしれませんが、“やらないこと”が正義のようになっているので、それが正しいのであれば今すぐ部活動を地域移行してほしいと思っています。部活がある以上、私は一生懸命頑張りたいと思っていますので、存続させるのであればとことんやらせてください。
- 例えば、働き方改革だということを前面に押し出してはいるが、部活動顧問の教員等が指導員と連携をする際、指導員と教員の価値観や感覚の違い等もあり対応に苦慮していただいている現状があるのを見ると、余計に時間と手間がかかってしまい働き方改革にはつながってはいないと考えるからである。スタート時は何かと不都合が生じるのは、予想されたことであるが、働く時間が増えたり、負担が増えたりすることはあってはならないと考える。
- 部活指導の時間が平日の放課後や休日になるため、業務の時間や休日がなくなる。地域移行が進めばそういった時間が増えるのはプラスに感じますが、専門委員や大会運営も教員が関わらないようにしていただきたいです。
- 移行後も指導したいと思う先生としたくない先生に別れることで、保護者からの不信感につながらないかどうか(指導してくれる先生は良い先生、指導しない先生は熱がない)
- 移行してから学校とは別の場所でトラブルや生徒指導が起きた場合は誰がどのように対応して保護者に連絡や後の指導を行うのか
- 平日の放課後や土日の活動などは教員の労働・勤務時間の増加につながっているのは確かであるが、自分は運動や今自分が持っている部活動の競技が好きで、気分転換にもなっているから。また、部活動では、普段の授業や教室での様子とはまた違った生徒の表情や頑張りなどの一面も見るができるから。

あなたは部活動の「地域移行」について、どのように考えていますか。

分からないの意見(原文抜粋)

- 現状の部活動の在り方では、負担に感じられる先生方が増えてきているが現実。学校部活動が教育活動に大きな役割を果たしてきたのも事実。40年前から見ると公式戦の数、大会日の増加などが教員の負担になっている要因の1つだと思われる。個人的には教員の負担を減らす方法を考え、学校部活動が継続できればという思いです。
- どんな人が、どんな気持ちで、どんな指導をするかが想像つかないから。中学校の部活動の指導として「勝利至上主義でない」というところが受け継がれるのかどうなのかも気になるところ。
- 専門外の競技の指導をしなくて良いのは、子どもためにも教師のためにも良いと思う。しかし、指導者が見つからないことで、その種目をしたい子どもができなくなるのは心配。教師のための改革だけでなく、子どもにとっても良い改革になるようにしてほしい。
- 休日の業務が減る分には良いが、もし休日のみ地域移行行われるのであれば平日と休日で指導に大きな差が生まれ、指導の一貫性をはかることが難しそうであるため。また、部活動の中でしか見れない生徒の一面もあるので完全地域移行にするのはどうなのかと思います。
- へき地校では、人数が少ないため負担が大きくなると思います。また、人数や地域によってできるところとできないところがある。
- 地域移行によってどのような内容を学校側が担うことになるのかが不透明である。そうなった場合に何をしなければいけないのか現段階では分からない。
- 地域移行についてはよい面もそうでない面もあると思うので。実際やってみないとわからないところもあるから。

地域移行を進める上で、どのような点が課題だと思いますか。



地域移行を進める上で、どのような点が課題だと思えますか。

☐☐ その他の意見(要約)

- ◆ 指導者が自分の思うように行かなかったり都合が悪いとすぐにやめてしまうのではないか。
- ◆ 地域移行により、金銭面や、送迎等の面で家庭への負担が増えることが予想される。
- ◆ 生徒指導上の問題が発生すると考えられる。
- ◆ 学校と地域との連携は必要だが、学校と地域の明確な線引きも必要。
- ◆ 大会運営は誰が行うのか。
- ◆ 運動が不得意な子供の更なる運動能力の低下。

指導者の
確保

保護者の
理解

生徒指導
の課題

地域クラブ
との連携

指導者の
役割や資質

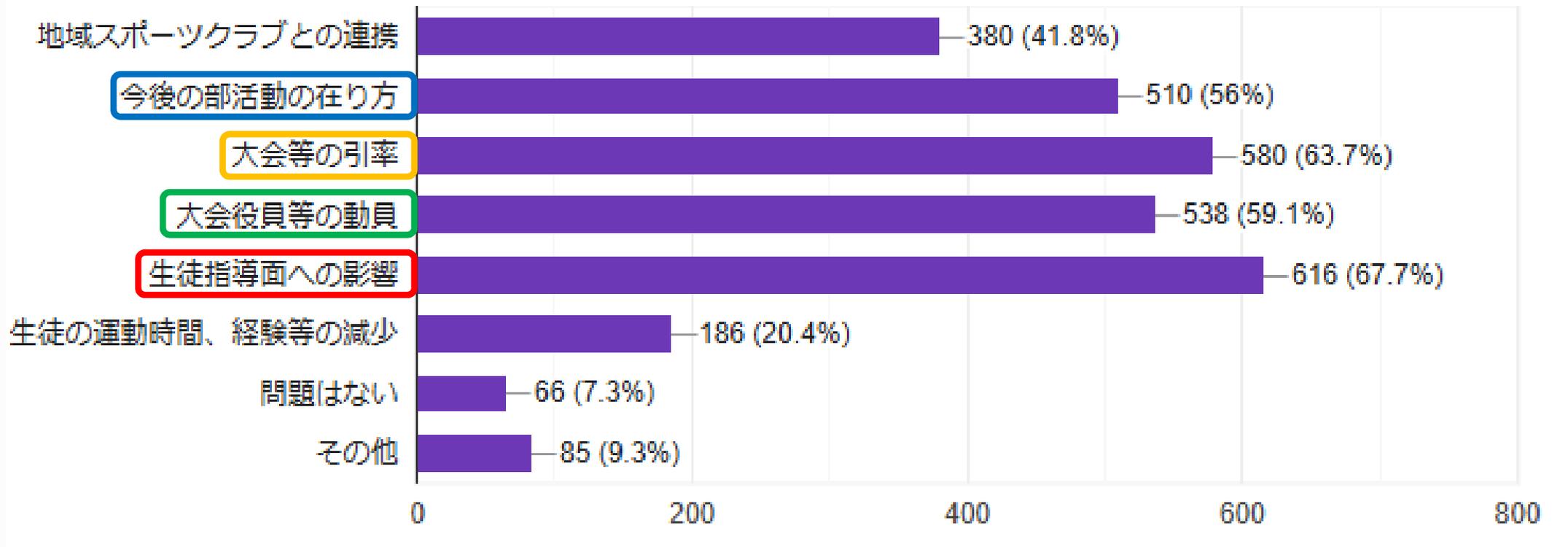
活動場所
の確保

経済的な
負担

大会運営
の問題

が主な
焦点となる

学校において「地域移行」が進んだ場合、不安に思うことは何ですか。



学校において「地域移行」が進んだ場合、不安に思うことは何ですか。

☐☐ その他の意見(要約)

- ◆ クラブ活動に参加する生徒数は減少し、生徒にとっての活動の場が失われる
- ◆ 学校と地域クラブの役割や責任の明確化が求められる
- ◆ 金銭面や、送迎等の面で家庭への負担が増えることが予想される
- ◆ 学校が生徒の生活全般に対して一貫した指導を行うことが難しくなる
- ◆ 持続可能な地域クラブの創設が本当にできるのか
- ◆ 指導者の質を保つことが難しくなり、今起こっている以上の不祥事が起こる
- ◆ 子どもたちの体力低下や、健康寿命の低下等につながらないか心配

生徒指導面
への影響

地域連携

教員の
役割

体力低下

指導者
の質

丁寧な対応が
求められる

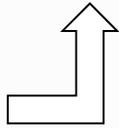
大会
運営

部活動の
在り方

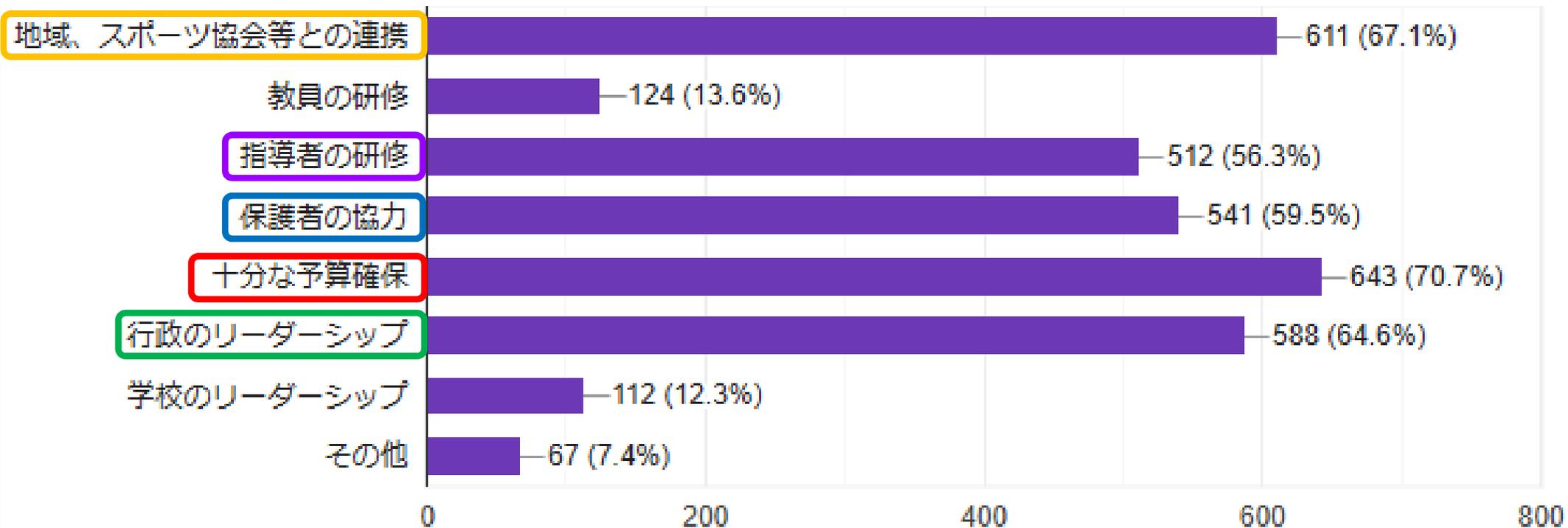
生徒の
活動の場

家庭への
負担

など、
多岐にわたる
不安を抱えている



部活動の「地域移行」を行うためにどのようなことが必要だと思いますか。



部活動の「地域移行」を行うためにどのようなことが必要だと思いますか。

☐☐ その他の意見(要約)

- ◆ 地域に任せる範囲の明確化
→どこからどこまでを地域に任せるのか、その線引きを明確にしておく必要がある
- ◆ 地域移行が進む中で、学校現場が混乱しており、保護者や生徒の理解が不足している
- ◆ 教員の研修という項目があるのが疑問

※指導のプロである学校教員がリーダーシップを取り、積極的に連携を図っていく必要がある



本県では令和8年度から土日の部活動は教員の立場で指導することができません。そこで、総体及び各種大会の土日開催について、ご意見があればご記入ください。

意見(要約)

①大会の開催日について

土日の大会開催は教員の負担を増やすため、平日開催を検討すべきとの意見が多い。

②教員の役割と責任

教員が大会運営に関与することに対する疑問が多く、「誰が運営をするのか。誰が引率をするのか。また、責任は誰がおうのか。」という声が上がっている。

③予算と手当の必要性

教員が大会運営に関与する場合、十分な手当や予算が必要であるとの意見が強調されている。

④地域移行の課題

地域クラブや外部指導者による運営が可能かどうかに対する懸念が示されており、「地域移行を行うなら、大会運営も完全に移行して欲しい。」という声が上がっている。

⑤生徒の活動環境の確保

生徒が部活動を頑張れる環境を残すことが重要であり、「子どもたちが思い切り部活動を頑張れる環境をぜひ残してあげて欲しい。」という意見が強調されている。

教員の負担軽減と生徒の活動環境の確保を両立させるための具体的な方策が求められている

自由記述

意見(要約)

①地域移行の不安と情報不足

「現状では、具体的な道筋がほとんど学校現場まで知らされておらず、教員はもちろん、生徒や保護者も不安に感じている人が多い。」

◇ 地域移行に関する具体的な情報が不足しており、進行状況や方針についての透明性が求められている。

②教員の負担と働き方改革

「部活動をしたい教師も多くいるので、きちんと報酬を出して指導にあたる。やりたくない教師はやらなくてもいい。」

◇ 教員の負担が増加することへの懸念があり、報酬や労働条件の改善が必要とされている。

③部活動の教育的意義

「部活動を通して生徒を育ててくれる思いのある先生方がたくさんいる。その人たちの気持ちが消えてしまわないようにしてほしい。」

◇ 部活動は生徒の成長に寄与しており、その価値を維持するための方策が求められている。

自由記述

意見(要約)

④地域クラブとの連携

「地域移行をめざすのであれば、地域のクラブが活動できる環境を整え、学校と同等にクラブで活動するという選択肢を整えてからというのが、筋ではないのでしょうか。」

◇ 地域クラブとの連携や環境整備が重要であり、教員の役割がどのように変わるのかが焦点となっています。

⑤不公平感と地域格差

「市町村単位で進めていくと市町村によってルールや対応の違いが生じ、活動している生徒や保護者への不公平感に通じる。」

◇ 地域移行に伴うルールの不統一が生徒や保護者に不公平感をもたらす可能性があり、県レベルでの統一したルールの必要性が強調されている。

具体的な方針や情報提供が求められている。